



# 鶉鮎つうしん

岐阜ダルクニュースレター平成30年新年号(64号)

## 13年目の感謝

岐阜ダルク後援会  
会長 斎藤幸二

岐阜ダルクの活動が始まって13回目の正月を迎えました。発足当初は利用者もいなくて、資金も乏しく、年末には残金がわずか700円という時もありました。しかし次第に支援の輪が広がり、2012年には東海地域では初の女性ハウスを開設し、さらに2016年には自立訓練施設「ステップハウス」を立ち上げる事が出来ました。まだ十分とはいえないまでも、3人のスタッフの給与も滞りなく支給されています。回復のための場所を見出だせなかった人たちもダルクに来て、メンバーも10数名になり、共に回復に向かって歩む仲間が増えたことでダルクの中も活気づいてきました。これもひとえに岐阜ダルクを心にかけていく皆さんの支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

常に申しあげていることですが、薬物依存症に陥る多くの人々は、幼少期の過酷な家庭環境が原因で心に傷を負っていたり、本人のナイーブすぎる性格のゆえに生きづらさを抱えていたりする人たちです。いわば人生の旅の途中で傷つき、倒れていた人々です。しかし彼らを受け入れ、支援して下さる人々によって人間のやさしさに触れ、ふたたび立ち上がって歩む力を与えられています。

新しい年も、皆様の変わりない暖かいまなざしと支援の手を差し伸べていただき、岐阜ダルクの仲間たちと一緒に歩んでいただきたいと思います。

## 仲間の体験談

### 「どん底からの出発」

あやか



依存症のあやかです。

私は、今回演劇のリーダーを任せられました。なんだけど、演劇本番が終わった今、私の心には、ぼっかりと穴が開いている。シナリオ作りも、道具作りも、歌の練習も、全部1人でやっていた。私は、全部監督したかった。

そこで私の最大のプログラムが始まった。自我を手放す。みんなと協力する。みんなに協力をお願いした。緊張して、泣きながら、みんなに協力して下さいとお願いした。私がそれまで勝手に感じていたビリビリした空気が、無くなった瞬間だった。

そして迎えた演劇本番。なぜ、私達がいきなり劇をやる事になったのか、本番まで知らなかった。シスターが、劇が終わったあとに、私達を紹介してくれました。

そこで初めて、その理由を知りました。シスター達がホームレスの支援で炊き出しを行っている公園で、私達の仲間2人が、ダルクの活動紹介を、マイクも無しで、自声でさけぶように、懸命に伝えようとしている姿を見て、今年の教会でのクリスマス会は、この子達に劇をお願いしようという事になりました。という事を初めて聞いて、私は本当にゾクゾクしました。

今まで、私が薬を使いながら一生懸命やってきたことは、人の上に立って、コントロールして、いつでもどこでも、自分が1番目立つという事でした。そうしないと、自分の存在してる意味が無くなると思っていたからです。

だけど、今回私は、特に目立つような事はしていません。BGMをいじったり、大道具をしたり…だから、なんかぼっかり穴があいているような感覚になったんだけど、劇を終えた今、ジワジワと感じられるものがありました。

仲間と一緒に協力して1つの物を作り上げる。何か1つの目的のため、努力したり、一生懸命やる。という事が、今の私にも、これからの私にも、本当に必要な事だ。という事を、今回の体験を通して仲間の姿を通して見付ける事が出来ました。

劇のエンディングのとき、シスター達が、私達の首にかけてくれた手あみのマフラーが「ズッキューン」と心につきさりました。そして、劇を教えてくださいました先生2人にも、本当に「ありがとう」を伝えたいです。私はこれから、全ての事に、感謝して生きてみたいです。

ケイコ



去年の12月8日、ステップハウス宛に郵便が届きました。見ると、私宛の高卒認定試験の結果通知書でした。ミーティング後、施設長と一緒に開封。その中には『合格証書』と記されている賞状が入っていました。施設長と大声をあげてうれし泣きです。勉強を始めて、丁度一年という月日が経とうとしていました。

中2の頃から私は荒れ狂い、中3はまともに学校に行かずに深夜中、不良仲間と遊び回っていました。どうせ私なんか高校に行っても仕方ない、受験もしませんでした。それなら私のための貯金を別のことに使いたいと言う母に「いいよ私、高校行かないから。お金使えば？」と格好つけて言いました。でも本当は…高校生になりたかった。なのに私は、自分の本心を母に打ち明けることから逃げました。自分の正直な気持ちや考えを伝えることで相手に負担をかけないか、言い争いになって傷ついたりしないかと、恐れる気持ちでいっぱいでした。

それから長年間の間、育ってきた環境や学歴、容姿などあらゆる事がコンプレックスとなりました。恵まれたように見える人を恨みました。人と比べ続けて自己憐憫に陥り、気づいた時には刑務所に2回行くことになっていました。

ダルクに繋がり、自分の生き方を変えたいと心から思うようになり、プログラムの実践により新しい生き方を学んでいます。そんな中、高卒認定試験の受験が与えられました。

受験するに当たり、教科書やワークブックをご支援いただきました。公共施設の職員さんに何度も勉強を教わりました。仲間も応援してくれました。多くの方々に支えられて合格証書を手にとれたと思っています。感謝の気持ちでいっぱいな私があります。本当にありがとうございます。

その後すぐ、アルバイトの面接に行きました。自信を持って今の自分の話をする事ができて採用されました。今は毎日、アルバイトに行き、休みの日はダルクのお手伝いをしています。

## ボランティアだより

12月11日にカトリック五反城教会のクリスマス会で上演した演劇「どん底からの出発」をご指導いただいた島源三先生、鹿島弘子先生ご夫妻にお話を伺いました。演劇について何も知らなかった仲間たちの舞台を集まられた方々の前で披露できたのは、ご指導いただいた先生のお蔭でした。



Q. 10月に初めて来られるまでダルクについて何かご存じでしたか？

島先生) 全く知りませんでした。施設の前を通ることがあって、若い男の人が昼間から外でタバコを吸っている姿を見て、昼間から何をやっているんだここは…とっていました。

鹿島先生) 近所の人の中には、少し心配して見ている人もいるような感じでした。

Q. 今回演劇指導の話があった時、どう感じましたか？

鹿島先生) とにかく一度様子を見てみようと思いました。

島先生) 行くのはやばいかもかもしれないと思いながら行って、妻に「今日限りかもしれないな」と言いながら入って行きました。

Q. 仲間に来てみてどうでしたか？

鹿島先生) みんな明るいのに驚きました。

島先生) もっと暗くて嫌々やるのかなと思っていたのですが、私の言ったことに反応してくるし、とにかくやる気を感じられたので、これならしっかりやってみようという積極的な気持ちになりました。

Q. 練習を進めるなかではどうでしたか？

鹿島先生) セリフの読み方を知りたいから特訓して下さいと言われた時、本当に嬉しかった。街でバッテリー会っても陽気にあいさつしてくれる。気持ちの良い人ばかりだったし、みんな良い個性を持っていた。こんな人たちがどうして薬を…と感じました。

島先生) 週2回、1時間半、2ヶ月程でよくあれだけ変わったと思う。行く度が変わっていた。必死で真剣にやっているのが気持ち良かったし、感性がすごくあると思いました。

Q. 本番の舞台を見てどうでしたか？

島先生) 70~80人の前で、もっとオドオドして間違えがあるぞと想像していました。でも、自信を持ってやっていて、せりふも完全だったし、動きも私の指示どおりにできていた。本当にこれが初めてなのかな…と思う程でした。これが今後の自分自身の人生を自信を持ってやっていくことにつながるのではないかなと期待しています。

鹿島先生) いろんな人たちが良かったと言っていました。あんなに人を感動させることができるというのはすごいこと。どうしてもなくて依存症で苦しんでいる人たちに少しでも道が開けるようにメッセージになると思います。中学や高校の生徒さんたちにも見てもらえるようにできれば良いと思います。いろんなカタチでやれるとを探してみてください。舞台が終わり、お客さんの拍手が鳴りやんだ時のみんなの表情は素晴らしいかったです。

島先生) またできることがあればいくらでもお手伝いさせていただきます。



# 活動報告



- 7 ダルク後援会会議
- 9 薬物電話相談日
- 10 岐阜ダルク家族会  
日本キリスト改革派多治見教会にて活動紹介  
カトリック江南教会にて活動紹介
- 11 カトリック五反城教会クリスマス会参加
- 13 各務原病院メッセージ
- 14 薬物電話相談日、ヨガ  
歳末たすけあい援助事業助成金贈呈式
- 16 薬物電話相談日  
岡崎ダルク家族会メッセージ
- 17 岐阜聖パウロ教会にて活動紹介  
フリーマーケット
- 20 笠松刑務所薬物離脱指導
- 22 陶芸教室
- 23 フラワーセラピー  
薬物電話相談日
- 24 岐阜ダルク家族会  
ルーテル岐阜教会クリスマス会参加
- 25~26 岐阜ダルク忘年会 (下呂温泉)
- 28 ヨーガ
- 31~1/2 NA年越しイベント参加



- 6 薬物電話相談日
- 7 書き初め
- 8 新春ぎふシティマラソン参加
- 10 各務原病院メッセージ
- 11 ヨーガ、薬物電話相談日
- 13 薬物電話相談日
- 14 間キリスト教会にて活動紹介  
岐阜ダルク家族会、フリーマーケット
- 15 ダルク後援会会議
- 16 笠松刑務所薬物離脱指導
- 20 薬物電話相談日
- 21 笠松キリスト教会にて活動紹介  
ルーテル岐阜教会もちつき
- 24 笠松刑務所薬物離脱指導
- 25 ヨーガ 26 陶芸教室
- 27 薬物電話相談日  
ニューズレター発送作業
- 28 岐阜ダルク家族会、日本バプテスト連盟  
東山キリスト教会にて活動紹介  
カトリック多治見教会にて活動紹介

●薬物電話相談日&岐阜ダルク家族会案内●  
・電話相談は毎週土曜日(第5土曜日を除く)と第2水曜日に行っております。  
TEL:058-251-6922  
・岐阜ダルク家族会は第2・第4日曜日に行っておりますのでお電話でご確認ください。  
TEL:058-201-3555



明けおめでとう。  
今年もよろしくワン。  
(ステッパ)

平成30年1/7 書初め・今年の抱負



仲間たちの今年の抱負

- ☆与えられる(期)まで待つ。(ヨッチャン)
- ☆花が咲くと信じて希望の芽を育てています。(クロ)
- ☆考えるだけじゃなくて行動する。(ウメちゃん)
- ☆自分自身を受け入れることから始まります。(ジュン)
- ☆今年からは、ベストをつくせない日があっても、絶対あきらめない!!(あやか)
- ☆自室の1番目立つところに貼って、毎日朝と夜に見て初心を忘れないようにしています。(でいちゃん)
- ☆愛ある行動をすべての場面でできるようにになりたいです。(マコ)
- ☆変わった自分になって出発するぞ。(とも)
- ☆おみくじに書かれていた1文字にしました。(ちさこ)
- ☆何事も新しく取り組む。(ふくちゃん)
- ☆爽快?に生きれるよう行動する。(まさひろ)
- ☆先伸ばしにしないで今日やる。(かおり)
- ☆今まで続けてきたことを更に継続していきたいです。(ケイコ)



## 12/25~26 岐阜ダルク忘年会 (下呂温泉)



●シラフで一発芸スカ?  
でもね、一発芸をするって決まってるから、毎日プログラムの合同にみんなで練習を始めました。もう、メッチャ楽しいヤン!!  
ダンシングヒーロー。みんなシラフを全力で楽しみました!!  
ありがとう。(あやか)



- ネタを考えるとこから楽しくて、細い体のコンプレックスを乗り越えられました。(ウメちゃん)
- ダルクに入って9ヶ月で体重96Kg→71Kg!!でもまだ腹タプタプだったので、油性マジックで胸筋と腹筋を書いて登場しました(笑)(でいちゃん)
- 本当に苦手な事でした。だけど仲間とやってみたらなんとか出来て、いい思い出になりました。(ようこ)



## 12/14 歳末たすけあい援助事業助成金贈呈式

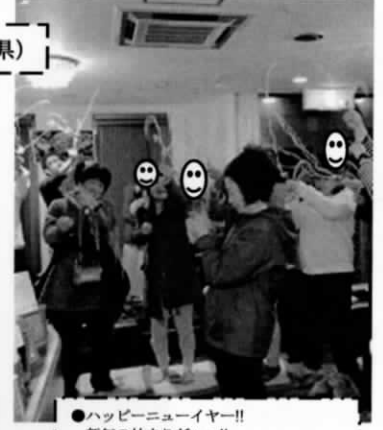


●贈呈式では、30の団体を代表してお礼をのべました。慣れないことなので、ちょっとドキドキでした。毎年、助成金を続けていただくことができ、感謝の気持ちでいっぱいです。この助成金をいただいで今年もみんなで下呂温泉での忘年会を楽しむことができました。ありがとうございます。(かおり)

## 12/31~1/2 NA年越しイベント参加 (三重県)



●色々な欲求のわきやすい時期です。自助グループのメンバーの企画で集まり、ミーティングをしたり、初日の出を見たり、仲間が集まって分ち合いをしました。(ちさこ)



●ハッピーニューイヤー!!  
新年の始まりだぁー!!  
今日だけを信じて!! (ふくちゃん)



●剣舞の体験をさせていただきました。  
決めポーズ。はっ!!! (とも)

## Step house だより

スタッフ 山田興久



今年もまた、Step house の仲間たちは皆、NAの集まりに参加して新年を迎えました。

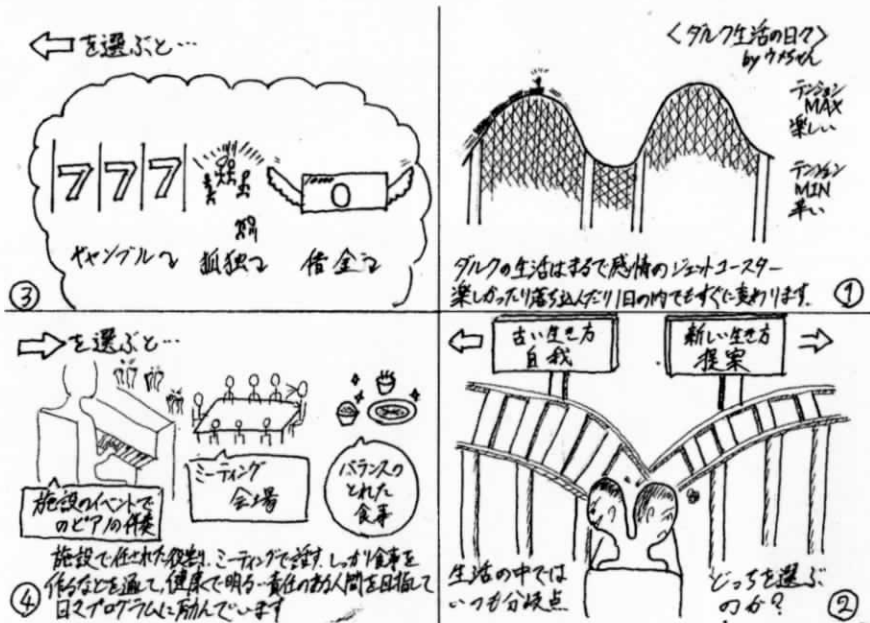
50人程が集まり、ミーティングで分かち合いゲームを楽しみました。走って行った小高い山の山頂で初日の出に向かって祈りました。恒例となった正月です。

昨年は、毎日のプログラムの中で新しいチャレンジがありました。その一つが演劇です。仲間が書いたシナリオを基に、長く本格的に劇団で活躍して来られた先生が、ボランティアで指導して下さいました。やっとできた友達に誘われたために薬物依存症になった少女がハイパーパワーとつながることで回復していく「どん底からの出発」と名付けた物語です。

練習を始めた頃は、どうなるか心配にしか見えなかった仲間たちが、本当に見事な演技を見せてくれました。皆で工夫してセットを作り、BGMや効果音を選んでいきました。一つのことを皆で協力してつくりあげていきました。

舞台が終わり、観客の皆さんからの拍手が鳴り響いた時の仲間たちの満ち足りた表情をもっと多くの人たちに見て欲しかった。仲間から感動でいっぱいだったと聞きました。今年もこうしたチャレンジをしていきたいと思っています。

私の今年の抱負は「Just do it」にしました。とにかくやってみる。行動の末に自らが変わり、新しい生き方が可能になるのだと思います。もっともっと自分を変えていくため仲間の中にいて、とにかくやり続けます。



## 女性ハウスだより

女性ハウス責任者  
勇 陽子



明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひ致します。寒い日がまだまだ続いておりますが、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。新しい年を迎え、女性ハウスのみんなも変わらず毎日プログラムに取り組んでいます。

現在、仲間6名で寮に暮らしています。今年から、もう一人仲間がアルバイトプログラムへ行くことになりました。とても嬉しい反面、「今日、あの仲間は居ないのか...。」と思う自分がいます。だけどどうして変わり続ける仲間達と一緒に居ることによってプログラムに対して私の確信がさらに深まります。

今年の自分の抱負は、「優」にしました。優しいなと思う人と接したとき、安心したことがありました。自分の存在をありのまま受け入れてもらったと思いました。そのとき「幸せだ」と思ったことがありました。だけど自分にはだいぶ欠けていると感じます。

出来るかどうか分かりませんが「優しさ」ということを意識して過ごしてみようと思います。今年も元気な女性ハウスの皆をどうか支えて下さい。よろしくお願ひ致します。

感謝の内に

## 第7回ミニフォーラム in 瑞穂市

### 薬物依存症は病気です。

やめられなかった私たち。今、止まっている私たち。

- ◎日時 平成30年 3月25日(日)  
13:00~16:30(受付開始12:30)
- ◎会場 瑞穂市総合センター 2F多目的ホール「あじさいホール」  
(所在地) 瑞穂市別府 1283  
自動車: 国道21号線穂積中原交差点を北へ約500メートル  
最寄りの駅: JR東海穂積駅より徒歩7分
- ◎参加費 無料
- ◎定員 100名 事前予約は不要です。直接会場にお越し下さい。
- ◎プログラム ●医師の話 (各務原病院 院長 天野宏一氏)  
●ダルク仲間の体験談 ●モデルミーティング  
●依存症者の家族の体験談 ●ダルクスタッフの話



## ご支援・ご協力をいただき心から御礼申し上げます

### 献金者名(平成29年11月13日～平成30年1月13日) 敬称略

援助修道会・名古屋修道院 河合潔 下林聡 伊藤直美 永嶋恵美 福島春美 中堀義広 浅野安紀子 水野滋子 岐阜アソシア・理事長・淡澤一郎 野村淳 川崎謙治 幼き聖マリア修道会 石川恭二 合田政二 小山西・中西東峰 久保田芳則 吉田庄吾 市岡多賀賜 小田泉 藤本弘 須田裕 不和ノ関病院・院長・岩戸敏廣 服部忠夫 日本キリスト教会・大垣教会 梅岡一哲 日本キリスト改革派岐阜加納教会 北野美津江 やまやクリニック・院長・山谷教一 上田千津子 日比野良子 本多岳明 檜田邦自動車株式会社 菅沼登志子 清水宗夫 勇昭代 岩田恭子 浦田方江 村松宏幸 北野眞弓 有安祥子 大垣ルーテル教会・教会学校 田口大輔 北谷雅春 岩松美八子 松居勲 一宮聖光教会 伊藤潤子 阿部賢彦 聖ドミニコ宣教修道女会・岡崎修道院 松浦剛 日本キリスト教会・岐阜教会 幼き聖マリア修道会・富山修道院 服部正博 福安一幸 酒井良彦 颯田宏之 吉田和郎 カトリック聖マリアの無原罪修道会 弁護士・伊藤知恵子 高山保護区保護司会・今井扶美子 カトリック布池教会の皆様 日本キリスト改革派大垣教会の皆様 日本キリスト改革派多治見教会の皆様 カトリック江南教会の皆様 岐阜聖パウロ教会の皆様 養清興業株式会社 樹の会 匿名者多数

### 献品者名(平成29年11月13日～平成30年1月13日) 敬称略

有安祥子 青井初恵 福岡誠 深津伸夫 木下容子 福岡和男 山田眞人 野田由美

匿名者多数

※お名前記載につきましては注意を払っておりますが、万が一お名前のお字・脱字または記載漏れなどございましたら、誠に申し訳ありませんが、ダルクまでご連絡をいただきますようお願い申し上げます。

※発送作業簡略化のため皆様全員に振込用紙を同封させていただいておりますことをご了承下さい。また匿名希望の方は、恐れいりますが、その旨を振り込み用紙通信欄にその都度ご記入下さいますようお願い致します。

※岐阜ダルクでは岐阜ダルク及び女性ハウスの2施設の地代家賃、水道光熱費、専任スタッフの人員費等、毎月一定の固定費がかかる一方、「中間施設」の性格上、きわめて財務基盤が不安定で、皆様方のご寄付が欠かせません。引き続きご理解とお力添えをお願い申し上げます。

### 岐阜ダルク 郵便振替口座 00840-5-167752 岐阜ダルク後援会

※Step house の新しい電話をひきました。TEL:058-201-3555 (日中はこちらにご連絡をお願いします)

※バザーや地域のフリーマーケットへの参加を定期的に行っていきます。

ご家庭で眠っている新品のタオルや家庭用品や衣類などがありましたら献品のご協力をお願い申し上げます。たくさんありましたらダルクから近郊の方でしたら取りに伺わせていただきますのでご連絡下さい。(058-201-3555)

編集 特定非営利活動法人 岐阜ダルク  
編集担当 岐阜ダルク後援会 齋藤幸二 鈴木輝一郎  
〒500-8175 岐阜市長住町7-3 TEL/FAX: 058-251-6922  
Email: gifudarc2004@yahoo.co.jp  
ホームページ: <http://gifu-darc.sakura.ne.jp/>  
ダルク日記『今日もぐるぐる』: <http://darcblog.ablo.jp/>  
2017年 岐阜ダルクニュースレター平成30年新年号 (No.64)  
定価 1部 200円  
編集責任者 遠山 香  
発行所 東海身体障害者団体定期刊行物協会  
名古屋市中区丸の内3-6-43 みこころセンター

